

# うみしんの現況

2020 Donan Umimachi Shinkin Bank  
DISCLOSURE 2020

2020年ディスクロージャー <2019年4月1日～2020年3月31日>



福島町



乙部町



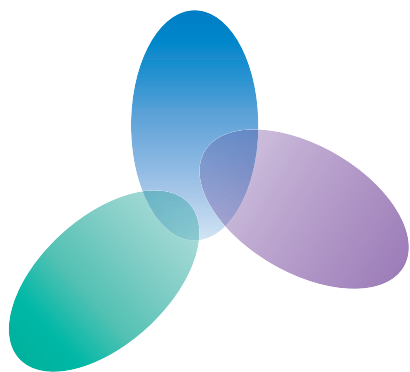
木古内町



# Donan Umimachi Shinkin Bank DISCLOSURE 2020

## 当金庫の概要 (2020年3月31日現在)

名 称	道南うみ街信用金庫
所 在 地	松山郡江差町字本町132番地
創 立	大正13年2月25日
預 金	2,730億8千7百万円
貸 出 金	1,208億2千8百万円
出 資 金	33億7千9百万円
店 舗 数	20店舗
会 員 数	17,928人
常勤役員数	268人



### ■シンボルマーク

江差と函館の道南エリアを形象化するため、お客さま・道南地域・当金庫を三つの楕円で表し、それぞれが未来に向かう姿を表現したものです。

## 目 次

ごあいさつ	1
経営理念・経営方針	2
業績ハイライト	3
自己資本	5
不良債権の状況	6
総代会	8
地域貢献	11
トピックス・地域とのふれあい	13
中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組状況	20
「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み	21
地域金融円滑化に向けた取り組み	21
リスク管理・コンプライアンス(法令等遵守)	22
顧客情報の保護について	23
反社会的勢力に対する取り組みについて	23
金融ADR制度への対応	23
預金保険制度について	23
預金業務のご案内	24
融資業務のご案内	25
各種サービス業務	26
事業の組織	27
役員一覧	27
営業地域	28
店舗一覧	30
開示項目索引	31
資料編	32
役職員の報酬体系の情報開示	35
自己資本比率規制に基づく開示	42
うみしんのあゆみ	49

## ごあいさつ

2020年7月

理事長 藤谷 直久



皆さまには、平素から私ども道南うみ街信用金庫に対しまして格別のご高配を賜り心より厚くお礼申し上げます。

当金庫の経営内容や事業活動をより一層ご理解いただくために、ここにディスクロージャー誌を作成しました。経営方針をはじめ業績、財務内容、業務のご案内や地域の皆さまとのふれあいなど現状をわかりやすくご案内しておりますので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、2019年度の国内情勢は前半緩やかな景気回復傾向にあったものの、後半にはEU離脱問題や中東情勢、米中貿易摩擦等、不安定な海外情勢や消費税率の引上げにより全体的に減速が感じられました。

私ども道南地域においては基幹産業の一つであるマイカを原料とする二次加工業で原魚の不足と高騰によって廃業・倒産に追い込まれたり、多くの中小企業で後継者問題や人手不足が一段と深刻化し、相次ぐ函館駅前のホテル開業により賃金の過当競争が表面化したりするなど、地域全体が企業経営や雇用への悪影響を受け越年しました。更に、年明けの新型コロナウイルス感染拡大の追い打ちにより地域経済は一段と深刻な影響を受けて今日に至っています。

一方、信用金庫を取り巻く環境は、高齢化や人口減少の進展など地域経済の構造的問題に加え日本銀行の長引くマイナス金利政策等により資金運用面でも困難となるなど収益環境も厳しい状況でありました。

この様な状況下、当金庫は新3カ年中期経営計画の2年目に入り、地域金融機関として事業再生・創業支援をはじめとする「うみしん相談ブランド」の確立を目標に掲げ、役職員一丸となって取り組んでまいりました。預金は、相続等による管外への流出が要因となり平均残高で4億円減少しましたが、貸出金は地方公共団体が約定弁済により25億円減少するも、一般法人で24億円、個人事業主で10億円増加したことにより総体で4億円増加しました。当期純利益は4億6百万円、自己資本比率は分母であるリスクアセットの増加により前年度比0.38ポイント低下し14.19%となりました。自己資本比率は低下しましたが、国内で営業する金融機関の下限4%を充分上回っておりますので健全性に揺るぎありません。また、利益の蓄積である内部留保額は4億円増加し145億円と着実に積み上がっております。

現在、当金庫では新型コロナウイルス感染症の影響拡大により資金繰りが逼迫している企業や消費資金の返済緩和等のご相談に誠心誠意お応えするため、各営業部に相談窓口を設置するなど体制を整備し支援に取り組んでおります。

三方よしの下、お客さま第一主義に立った業務の多様化・高度化等を進め一段の「うみしん相談ブランド」を確立し、地域のホームドクターとして中小・零細企業をしっかりとサポートし、地域から必要とされ続ける金融機関を目指してまいり所存でありますので、引き続き倍旧のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 経営理念

三方よし(お客様よし、地域よし、金庫よし)の理念の下、  
信用金庫の独自性・特性を活かし  
地域社会に必要とされ続ける金融機関を目指す

## 経営方針

- 一. 質の高い金融サービスの提供に努め、多くのお客様と地域社会の繁栄に貢献します
- 一. 健全経営に徹し、信頼・信用される金庫の維持と事業の発展に努力します
- 一. 職員の融和と資質向上を図り、やりがいのある職場を創ります

## 中期経営計画(2018~2020年度)【Progress】

2018年度より『「三方よしの理念」のもと、地域・お客さまが必要とする金融サービスを「誠意をもって誠実」に提供し、「地域」のホームドクターとして「地域」から必要とされる金融機関であり続けることにより持続性を確立する』ことを目指すべき姿とした新中期経営計画【Progress】を策定し、以下に示す戦略に基づき、役職員一同、全力で取り組んでおります。

# Progress

### 【戦略1】 支援力・営業力の深化

- ・金融仲介機能の発揮
- ・お客さまとの長期的信頼関係の構築
- ・会員組織の有効活用
- ・業界ネットワークの活用
- ・地道なCSR(社会貢献活動)の展開
- ・地域活性化に向けたプラットフォーム機能の発揮

### 【戦略2】 経営力・内部態勢の深化

- ・収益性の向上
- ・生産性・効率性の向上
- ・健全性の確保
- ・透明性の向上
- ・法令等遵守態勢・顧客保護等管理態勢のさらなる強化推進
- ・リスク管理態勢の強化推進
- ・業務継続態勢の強化推進

### 【戦略3】 人材力・組織力の強化

- ・人材の確保
- ・人材の育成
- ・働き方改革

### 【戦略4】 独自性の発揮

- ・「おもてなし」態勢の強化
- ・店舗周り美化へ促進
- ・年金レディース活動の業務範囲充実